



平成 17 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 16 年 8 月 25 日

上場会社名 リオン株式会社

（コード番号：6823 東証第 2 部）

（URL <http://www.rion.co.jp/>）

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 井上清恆

問合せ先責任者 役職名 取締役管理統括部長 氏名 清水健一 T E L : (042) 359 - 7834

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・法人税等の計上基準、その他影響額が軽微なものにつき、一部簡便的な方法を採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 17 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 1 四半期	4,281	0.9	98	-	91	-	36	-
16 年 3 月期第 1 四半期	4,241	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16 年 3 月期	18,020		685		543		355	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 3 月期第 1 四半期	3	64	3	54
16 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-
(参考)16 年 3 月期	34	62	34	07

(注)売上高におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1 株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17 年 3 月期第 1 四半期	23,951	8,785	36.7	888	16
16 年 3 月期第 1 四半期	-	-	-	-	-
(参考)16 年 3 月期	23,283	8,833	37.9	891	70

3. 平成 17 年 3 月期の連結業績予想（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

中間業績、通期業績につきましては平成 16 年 5 月に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

（参考）平成 16 年 5 月発表の業績予想

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	9,200	140	100
通期	18,500	500	300

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 30 円 30 銭

* 上記の予想は現時点で入手可能な情報にもとづき算出したものであり、実際の業績はさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

[第 1 四半期連結業績に関する定性的情報等]

1 . 概況

当連結会計年度第 1 四半期の販売概況につきましては、補聴器事業において新製品の発売時期が翌四半期以降へずれ込んだことに加え、外国メーカーの積極的なプロモーション活動も続いており、厳しい市場環境となっております。このような状況の中で、当社グループでは補聴器の販売ルートを補強するため、販売店網であるリオネット会を全国 7 地区体制に増強し、加盟店の拡大を図ると共に、より多くのお客様にリオネット補聴器を知って頂くため、ブランドの強化対策を行なっております。また、医用検査機器事業につきましても医療機関の設備投資の冷え込みが続いておりますが、当社グループでは、新規開業を予定している病院・開業医を中心に、オーディオメータおよび電子カルテ関連商品の拡販に努力しております。一方、音響・振動計測器事業につきましては、信頼される品質と顧客ニーズに対応した機能を組み込んだ周辺アプリケーションソフトが好評を博すなど、輸出の伸びにも支えられ、前連結会計年度に引き続き好調な売上を維持しております。さらに微粒子計測器事業につきましても、前年度に引き続き活況を呈している半導体産業での設備需要が旺盛で、当社グループが得意とするハードディスク、薬液、液晶関連業界で着実な受注に結び付いております。

2 . 経営成績

当連結会計年度第 1 四半期の売上高は 42 億 8,160 万円と前年同四半期の 42 億 4,140 万円に比べまして 4,019 万円増加いたしました。売上原価につきましては、原価率の改善を図るため、コスト削減努力を続けると共に、原価低減設計を取り入れた新製品の販売を積極的に推進いたしました。販売費及び一般管理費につきましては、前期末に比べ従業員数が減少しておりますので当連結会計年度第 1 四半期の人件費は減少いたしました。その一方でブランド力を強化するための費用が増加いたしました。この結果、営業利益は 9,840 万円、当期純利益では 3,608 万円となりました。

3 . 財政状態

当社グループの当連結会計年度第 1 四半期における資産の部は、上期賞与等の支払に備えるため、現金及び預金が一時的に増加したこと、通常設備投資を行ったことなどにより、239 億 5,176 万円と前連結会計年度期末に比べ 6 億 6,817 万円増加いたしました。また、負債の部では運転資金等の借入れを行った結果、前連結会計年度期末に比べ 7 億 1,611 万円増加し、151 億 6,612 万円となりました。資本の部につきましては配当金の支払等を含めまして資本合計が前連結会計年度期末に比べて 4,794 万円減少し、87 億 8,564 万円となりました。

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

区 分	当第1四半期 (平成16年6月30日)	【参考】前連結会計年度 (平成16年3月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
(資産の部)		
流動資産		
1 現金及び預金	1,877,741	1,613,382
2 受取手形及び売掛金	4,849,294	4,760,925
3 たな卸資産	3,677,960	3,606,300
4 その他	1,053,580	917,137
貸倒引当金	12,050	12,024
流動資産合計	11,446,526	10,885,721
固定資産		
1 有形固定資産	10,298,268	10,190,970
2 無形固定資産	380,496	393,910
3 投資その他の資産	1,827,708	1,814,223
貸倒引当金	1,233	1,232
固定資産合計	12,505,239	12,397,870
資産合計	23,951,765	23,283,592
(負債の部)		
流動負債		
1 支払手形及び買掛金	1,451,199	1,410,551
2 一年以内償還予定社債	100,000	100,000
3 短期借入金	2,501,262	1,805,710
4 その他	1,401,589	1,361,067
流動負債合計	5,454,051	4,677,328
固定負債		
1 社債	350,000	350,000
2 長期借入金	4,882,881	5,028,128
3 その他	4,479,191	4,394,549
固定負債合計	9,712,072	9,772,677
負債合計	15,166,123	14,450,005
(少数株主持分)		
少数株主持分		
(資本の部)		
資本金	1,194,400	1,194,400
資本剰余金	1,618,490	1,618,490
利益剰余金	2,834,835	2,912,078
土地再評価差額金	3,036,599	3,036,599
その他有価証券評価差額金	106,338	76,820
為替換算調整勘定	714	783
自己株式	4,307	4,019
資本合計	8,785,641	8,833,586
負債、少数株主持分及び資本合計	23,951,765	23,283,592

2.(要約)四半期連結損益計算書

区 分	当第1四半期 (自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日)	【参考】前連結会計年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)
	金額(千円)	金額(千円)
売上高	4,281,603	18,020,505
売上原価	2,442,501	10,382,479
売上総利益	1,839,101	7,638,026
販売費及び一般管理費	1,740,699	6,952,889
営業利益	98,401	685,136
営業外収益		
1 受取利息及び受取配当金	8,274	22,008
2 その他	35,573	170,819
営業外費用		
1 支払利息	29,708	159,425
2 その他	20,726	175,470
経常利益	91,815	543,068
特別利益	1,085	7,193
特別損失	1,691	39,094
税金等調整前四半期(当期)純利益	91,208	511,167
税金費用	55,127	156,122
四半期(当期)純利益	36,081	355,045